

総合的な学習の時間 学習指導案

指導者 酒見 一平

- 1 日 時 平成25年11月27日(水) 2校時
- 2 学年学級 第6学年1組(男子18名 女子20名)
- 3 場 所 6年1組教室
- 4 単元名 「かがやいている人」を見つけよう
- 5 単元について

○ 本学級の児童は、これまでの総合的な学習の中で、興味や関心に応じた課題を設定し、解決する学習を経験してきた。1学期の「世界に目を向けよう」の学習では、行ってみたい国や詳しく知りたい国を選び、テーマを設定して調べ学習を行った。単元後半では、安芸府中高校に来られたオーストラリアの高校生やJICAの方々と交流する機会を設け、異文化についての関心をもち理解を深めることができた。

7月に行ったアンケート調査によると、「学習課題を見つけるのが好き」(72%)、「学習したことをまとめるのが好き」(72%)と、自分で課題を設定したり、整理分析したことをまとめたりすることに対しては意欲的に活動している児童が多い。

それに対して、「インタビューをしたり、質問したりするのが好き」(44%)、「まとめたことを発表するのが好き」(44%)と、分かったことや考えたことを表現したり、人とかがわって活動したりすることに対しては、あまり好きではないと答える児童が多かった。

そのため、児童が積極的に他者とかがわり、協同的に学習することの良さを実感できる学習活動を更に積み重ね、学習がより探究的になるような指導を継続して行う必要がある。

○ 本単元では、新聞記事の活用を通して、世の中の出来事や動向に目を向けさせることで児童の視野を広げることができるとともに、新聞記事に紹介されている「かがやいている人」に焦点を当てながら学習を継続していくことで、様々な人物の行動や考え方に触れ、自らの在り方を見直すことができる。この学習と並行して、身近な地域にも「かがやいている人」がいないか探し、実際に取材やインタビューをさせていただきながら、尊敬できる人や学ぶべき人、感謝する人などの存在にあらためて気づき、地域への愛着が高まるようになると考える。

普段から新聞を読む習慣がある児童が少ないことから(4月の時点で31%)、まずは世の中の出来事や報道されていた人物を教師が紹介したり記事を掲示したりして興味・関心を高める。また、他者へのインタビューに苦手意識をもつ児童が多いことから、新聞社の方にゲストティーチャーとして来ていただき、新聞の読み方や取材の仕方を教わる等して、新聞に親しむ態度や他者と協同して学ぶスキルを身に付けさせることが必要である。

○ 指導に当たっては、次の二点に留意していきたい。

探究的な学習について

児童の新聞に対する興味・関心を高めるため、単元に入る前から学級の掲示板に最近の新聞で話題になった人物や偉業を成し遂げた人物、投稿された小中学生の作文など、多様な記事を継続して掲示する。新聞の情報から、世の中には「かがやいている人」がたくさんいることを実感させ、自分でも探してみようとする意欲を高めていく。 【課題の設定】

個々で毎月スクラップした新聞記事や、身近な地域の「かがやいている人」から取材したワークシート等は、クリアファイルに蓄積していき、自分だけの人物集を作らせる。単元後半では、それらの人物から学んだことや自分に活かしていきたいこと等をKJ法的手法や

座標軸の入ったワークシートで整理して、次の単元「もっとすばらしい自分へ～自分向上プロジェクト～」につなげていく。 【整理・分析】

協同的な学習について

児童がスクラップした新聞記事の人物や、身近な地域の人を定期的に紹介し合う場を設けることで、自分が知らなかった様々な「かがやいている人」がいることを知ることができる。

【多様な情報を活用して協同的に学ぶ】

「かがやいている人」を紹介し合う場においては、友達の考えに対して常に自分の考えと比べさせ、意見や感想を交流する。 【異なる視点から考え協同的に学ぶ】

6 単元の概要

(1) 単元の目標

新聞や身近な地域から「かがやいている人」を探す活動を通して、様々な人物の行動や考え方等に触れ、これからの自分の生き方を考えることができる。

(2) 単元で育てようとする資質や能力及び態度

[学習方法に関すること]

対象と積極的にかかわる中で、課題を設定する。

対象や目的に応じて情報を収集し、整理・分析して考える。

[自分自身に関すること]

自らの生活の在り方を見直し、進んで考える。

[他者や社会とのかかわりに関すること]

他者と意見交換をしながら自分の考えを深める。

7 単元の評価規準

評価の 観点	学習方法		自分自身	他者や社会との かかわり
	課題設定	思考・分析	自己理解	協同
単 元 の 評 価 規 準	①新聞で紹介されていた人物について、「かがやいている」ポイントや選んだ理由を明らかにしている。 ②身近な地域の方々に取材したい項目を明らかにして、計画を立てている。	①様々な人物の言葉や考え方、生き方の共通点をKJ法的手法を使って整理している。 ②様々な人物からの学びを、座標軸入りワークシートに整理し、優先度の高いものを選んでいく。	①世の中には、様々な「かがやいている人」がいることに気付き、自分の在り方につなげて考えようとしている。 ②様々な人物から学んだことを生かしたり、実行したりしようとしている。	①友達や取材させていただいた地域の方々の考えや意見を積極的に取り入れている。 ②友達と意見交換をしながら考えをより深めている。

8 指導と評価の計画（全24時間）

課=課題設定, 思=思考・分析, 自=自己理解, 他=協同

小単元名 (時数)	主な学習内容	評価規準及び評価方法	
1 新聞から「かがやいている人」を見付けよう (8時間)	<ul style="list-style-type: none"> ○オリエンテーションをする。(1) ○新聞で紹介されていた人について話し合う。(1) ○新聞で紹介されていた人物の記事を集め、スクラップする。(3) ○新聞から探した「かがやいている人」をワークシートにまとめ、グループ内で紹介し合う。(3) 	自① 課① 協①	観察による評価 (行動観察) ポートフォリオによる評価 制作物による評価 (ワークシート)
2 身近な地域の「かがやいている人」を見付けよう (12時間)	<ul style="list-style-type: none"> ○「かがやいている人」に共通していることを見つけよう。(2) ○身近な地域にいる「かがやいている人」について話し合う。(2) ○話を聞いてみたい人を決めて、グループで取材の計画を立てる。(3) ○新聞社の方に取材の仕方や記事の書き方を教わる。(2) ○取材活動を行う。(3) 	思① 課② 協①	制作物による評価 (付箋・画用紙) 制作物による評価 (取材計画書) 制作物による評価 (取材メモ)
3 「かがやいている人」からの学びをまとめよう (4時間)	<ul style="list-style-type: none"> ○身近な地域の「かがやいている人」たちの言葉や考え方、生き方から共通していることを考える。(本時2/2) ○自分に生かしていきたいことを整理する。(2) 	思① 協② 思② 自②	制作物による評価 (付箋・画用紙) 制作物による評価 (ワークシート)

9 本時について

(1) 本時の目標

- 身近な地域の「かがやいている人」の生き方や考え方を、共通点を明らかにしながら整理・分析することができる。

(2) 準備物

ホワイトボード（班活動用ワークシート） ホワイトボードマーカー 短冊 マジック

(3) 本時の展開

学習活動	・指導上の留意点，◇予想される児童の反応 ◎言語活動の充実	評価規準(評価方法)
1 学習計画を振り返る。 2 本時のめあてを知る。	・単元計画を振り返り，本時の学習の見通しをもたせる。	
<p>「かがやいている人」たちの生き方や考え方の共通点を探ろう。</p>		
3 どんな力を付けるか確認する。	<p>・どんな力を付けるための活動にするのかを考えさせることで，活動の意味を明確にできるようにする。</p> <p>◇「かがやいている人」たちへの取材で分かったことを話し合い，共通点を見付けることができるようにする。</p>	
4 「かがやいている人」たちの生き方や考え方を思考ツールで整理する。	<p>・前時に付箋に書き出した3人の「かがやいている人」たちの生き方や考え方をを用いて，班内で交流させる。</p> <p>◇私は，〇〇さんの～という行動に共感しました。</p> <p>◇私は，〇〇さんの～という言葉から，〇〇さんは...と考えていることが分かりました。</p> <p>・3人の方の考え方や生き方に迫り，話し合いの中で共通点を見つけさせる。</p> <p>・思考ツール（KJ法的な手法）を使って整理させ，まとまりごとにタイトルをつけさせる。</p> <p>◎なぜそう思うのか，理由や根拠を明らかにしながら話し合う。</p> <p>◇私は，3人の生き方の共通点は，常に人のために行動していることだと思います。なぜなら，～だからです。</p> <p>◇私は，3人の考え方の共通点は，信念をもって物事に取り組んでいることだと思います。なぜなら，～だからです。</p>	<p>【思考・分析】</p> <p>① 様々な人物の言葉や考え方，生き方の共通点（KJ法的な手法）を使って整理している。（ワークシート）</p>

5 全体で交流し、まとめをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな共通点を見つけたか、各班が付けたタイトルを黒板に掲示し、気付いたことを話し合わせる。 ・わたしたちの町やわたしたちの生活とのかかわりにも気付かせる。 	
6 振り返りをし、次時の学習について知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・「かがやいている人」からの学びを自分自身につなげていくことを予告する。 	

(4) 板書計画

11/27 めあて 「かがやいている人」の生き方や考え方の共通点を探ろう。

<div style="border: 1px solid black; width: 80%; height: 80%; margin: 5px auto;"></div> <p style="text-align: center; margin-top: 5px;">付きたい力</p>	<p style="text-align: center;">身近な地域の「かがやいている人」たち</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 30%;">写真</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 30%;">写真</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 30%;">写真</div> </div> <p style="text-align: center;">分類・整理の進め方</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; min-height: 100px;"> <p>①</p> <p>②</p> <p>③</p> </div>	<p style="text-align: center;">各グループが付けたタイトル</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; width: 33%; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 33%; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 33%; height: 20px;"></td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; height: 20px;"></td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; height: 20px;"></td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; height: 20px;"></td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; height: 20px;"></td> </tr> </table>															